

社会資本総合整備計画 事後評価書

人でのぎわう、安全で快適な都市空間の創生
(2021～2023年度)

岡山市

令和6年3月

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月07日

計画の名称	人でにぎわう、安全で快適な都市空間の創生（2021～2023年度）												
計画の期間	令和03年度～令和05年度（3年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	岡山市												
計画の目標	自転車の利用環境や他の交通機関への乗り換え環境を整えることにより、自転車と公共交通が主体の交通システムを実現させ、人でにぎわう、安全で快適な都市空間を創生する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	385	A	385	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R4末	R5末
1	岡山市内の自転車関連交通事故件数（令和元年度463件）を351件に減少。 岡山市内において令和5年度に発生した自転車関連交通事故件数を調査する。	463件	件	351件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村	交安	(市) いずみ町青江線ほ か	自転車走行空間整備 L=18.1 km	岡山市	■	■	■			382	—	
	A01-002	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村	交安	築港新町バス停自転車等 駐車場	自転車等駐車場整備 1箇所	岡山市	■					3	—	
										小計						385			
										合計						385			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 岡山市において当該社会資本整備計画関係課により事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和6年3月
公表の方法 岡山市HPに掲載	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・自転車の通行位置や進行方向を明示する自転車走行空間ネットワークの整備とあわせて、自転車の通行ルールやマナーの周知を図ることで、自転車関連事故の削減に一定の効果は発現したと考えられるものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会活動の活発化等によって、全国的に交通事故が増加し、目標の達成には至らなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年3月に策定した「岡山市自転車活用推進計画」に基づき、自転車利用環境に係る各種施策に取り組み、自転車利用環境の向上を図る。 ・自転車利用者が安全で快適に通行できる自転車走行空間のネットワーク化を推進するため、本市中心部の「重点エリア」と並行して、重点エリアにアクセスする「都心アクセス軸」や主要駅周辺部等の「郊外スポット部」においても、自転車走行空間の整備を着実に推進する。
--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	351件	自転車の通行位置や進行方向を明示する自転車走行空間ネットワークの整備とあわせて、自転車の通行ルールやマナーの周知を図ることで、自転車関連事故の削減に一定の効果は発現したと考えられるものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会活動の活発化等によって、全国的に交通事故が増加したことから、目標値に至らなかったものと考えられる。
	最終実績値	591件	